

- ・ 飯塚悦功・水流聡子・棟近雅彦：PCAPS Administrator/ピ°-キヤッ°ス・アド°ミニストレ°タ°
出願番号：商願 2006-5786，区分：国際分類第9類，当所番号：T112-0006，登録番号：第4994163号，録日：2006年10月6日
- ・ 飯塚悦功・水流聡子・棟近雅彦：PCAPS Analyzer/ピ°-キヤッ°ス・アナライザ°°
出願番号：商願 2006-5787，区分：国際分類第9類，当所番号：T112-0007，登録番号：第4994164号，登録日：2006年10月6日
- ・ 飯塚悦功・水流聡子・棟近雅彦：PCAPS/ピ°-キヤッ°ス
出願番号：商願 2006-5782，区分：国際分類第9類，当所番号：T112-0002，登録番号：第5002964号，登録日：2006年11月10日
- ・ 飯塚悦功・水流聡子・棟近雅彦：Intelligence Modeling Technology
出願番号：商願 2006-5784，区分：国際分類第9、42類，当所番号：T112-0004，登録番号：第5002965号，登録日：2006年11月11日

<商標登録出願>

- ・ 飯塚悦功・水流聡子・棟近雅彦：PCAPS/患者状態適応型パス
出願番号：商願 2007-18032，区分：国際分類第9類，当所番号：T112-0008

<ソフトウェア>

- ・ PCAPS コンテンツ作成支援システム PCAPS-Builder α版，β版

<取材>

朝日新聞，読売新聞，日経産業新聞，週間社会保障，じほう等々

資料

平成 18 年 9 月 9 日開催：平成 18 年度 中間成果報告シンポジウムプログラムパンフレット
平成 19 年 3 月 10 日開催：平成 18 年度 最終成果報告シンポジウムプログラムパンフレット

平成17-19年度

厚生労働科学研究費補助金(医療安全・医療技術評価総合研究事業)

「医療安全と質を保證する患者状態適応型パス(PCAPS-IMT)
統合化システム開発研究」

主任研究者 飯塚悦功 (東京大学 教授)

主任研究者補佐 棟近雅彦(早稲田大学 教授) 水流聡子(東京大学 助教授)

中間成果報告シンポジウム プログラム

日時 : 2006年9月9日 土曜日 9:00~18:00

会場 : 早稲田大学

共催 : 日本品質管理学会 「医療の質安全部会」

時間/場所	内容/研究メンバー(敬称略、順不同)
9:00 ~ 10:00 【会場前 ホワイエ】	第I部 標準コンテンツ 相互レビューポスターセッション(全13領域) ・泌尿器科領域 田中良典・永江浩史・吉井慎一・瀬戸親 ・循環器疾患領域 山内孝義・久島昌弘 ・整形外科領域 勝尾信一・今田光一・松下雅樹・吹矢三恵子 ・小児科領域 吉田 茂・永井庸次・内田正志・久保 実 ・神経内科領域 高橋真冬・進藤 晃 ・呼吸器外科領域 矢野 真・宮澤秀樹・栗原正利・奥村 崇・伊藤志門・伊藤宏之・片岡秀之 ・NICU領域 加部一彦・小西央郎 ・消化器内科領域 蒲生真紀夫・加藤俊介・枝 幸基 ・呼吸器内科領域 蝶名林直彦・内山 伸・嶋田 元 ・救急 織田 順・木村真一 ・がん 河村 進・谷水正人・船田千秋・青儀健二郎・大住省三・若尾文彦 蒲生真紀夫・御子柴路朗 ・糖尿病 菅野一男・調 進一郎・西田賢治・片山隆司・住友秀孝・桑原公一郎 大野 敦・名和知久礼・朝比奈崇介・赤司俊彦・松下美加・藤井仁美 ・ユニットライブラリー 永井庸次・渡邊千登世・相馬孝博・庄子孝子・内山真木子・大山 瞳 船田千秋・村木泰子・吉原依里・蒲生真紀夫・高橋真冬・桜本秀明 長谷川由美・渡邊美由紀・阿部幸子・新井絹子・草野華世・関 利一 永江浩史・前堀直美・井上加野・竹内登美子・中野美由起・綿貫成明 河口てる子・横山悦子・東めぐみ・大沼扶久子・井上貴久美・浅田美和
10:00 ~ 12:00 【57号館 202】	第II部 研究フレームとアウトプット 1.本研究のねらいと今年度の計画・進捗状況 飯塚 悦功 (東京大学) 2.臨床プロセス知識構造化ツールとしての「PCAPS」 水流 聡子 (東京大学) 3.標準コンテンツの意義と開発プロセス 棟近 雅彦 (早稲田大学) 4.PCAPS-Builder(ver.1.0)の機能 加藤 康之 (㈱サイバー・ラボ) 5.PCAPS搭載電子カルテシステム(PCAPS-Administrator)開発について 統括班
12:00 ~ 13:30	休憩 (ポスターセッション含む)
13:30 ~ 15:30 【57号館 202】	第III部 標準コンテンツ 相互レビューワークショップ ・泌尿器科領域 田中良典 (武蔵野赤十字病院) ・循環器疾患領域 山内孝義 (株式会社日立製作所 水戸総合病院) ・整形外科領域 勝尾信一 (福井総合病院) ・小児科領域 吉田 茂 (名古屋大学医学部附属病院) ・神経内科領域 高橋真冬 (育梅市立総合病院) ・呼吸器外科領域 矢野 真 (武蔵野赤十字病院) ・NICU領域 加部一彦 (愛育病院) ・消化器内科領域 蒲生真紀夫 (みやぎ県南中核病院) ・呼吸器内科領域 蝶名林直彦 (聖路加国際病院) ・救急 織田 順 (社会保険中京病院) ・がん 河村 進 (独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター) ・糖尿病 菅野一男 (武蔵野赤十字病院) ・ユニットライブラリー 永井庸次 (株式会社日立製作所 水戸総合病院)
15:30 ~ 15:50	休憩
15:50 ~ 18:00 【57号館 202】	第IV部 質経営ツール「PCAPS」熟考 1.PCAPSによるDPC評価の可能性 医療の質・安全部会 棟近 雅彦 永井 庸次 水流 聡子 2.講演:DPC導入病院における質経営意識の必要性 飛永 晃二 (健康保険諫早総合病院) 【関連報告 佐野 雅隆 (早稲田大学理工学研究科 修士2年)】 3.パネルディスカッション:DPC評価改善ツールとしてのPCAPS電子カルテの可能性 パネルリーダー 飯塚 悦功 (東京大学 教授) パネリスト 伊藤 雅治 (全国社会保険協会連合会 理事長) 齋藤 寿一 (社会保険中央総合病院 病院長) 飛永 晃二 (健康保険諫早総合病院 病院長) 井川 澄人 (医療法人医誠会 名誉病院長) 進藤 晃 (大久野病院 病院長) 須古 博信 (済生会熊本病院 病院長) 永井 庸次 (株式会社日立製作所 水戸総合病院 病院長) 僮友 浩一 (九州大学 教授)

実行組織

実行委員長	飯塚 悦功(東京大学)
副実行委員長	棟近 雅彦(早稲田大学) 水流 聡子(東京大学)
実行委員	段ノ上 秀雄(東京大学)・齋藤かほり(東京大学)・小島 裕子(東京大学)・佐藤 典子(東京大学)
	加藤 信子(早稲田大学)・岡田優子(早稲田大学)・中田知廣(早稲田大学)
	塩飽 哲生(東京大学博士課程)・金子 雅明(早稲田大学博士課程)・加藤 省吾(東京大学博士課程)
	佐野 雅隆(早稲田大学修士課程)・赤井亮太(東京大学修士課程)・福島瑠依子(早稲田大学修士課程)
	東京大学飯塚研究室学生・早稲田大学棟近研究室学生

PCAPS-IMT研究会HP

<http://plaza.umin.ac.jp/~A-epath/index.html>

PCAPS-IMT事務局

お問い合わせ先

〒113-8656

東京都文京区本郷7-3-1 工学部5号館 625

東京大学飯塚研究室

TEL: 03-5841-7299 FAX: 03-5841-7276

E-mail: Office-PCAPS@umin.ac.jp

最終成果報告シンポジウム ご案内

日時: 2007年3月10日・11日 10:00~

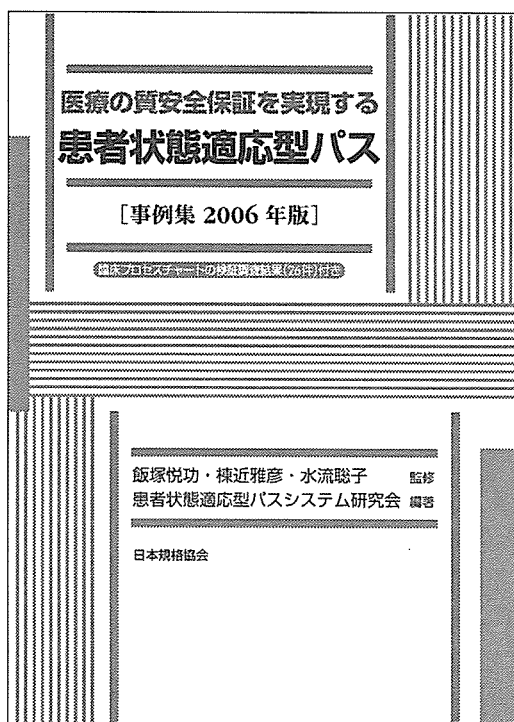
詳細は上記 PCAPS-IMT HPにてお知らせ致します

本日の配布物

- ① プログラム
- ② 書籍事例集 2006年版
- ③ 品質管理学会「医療の質安全部会」ご案内

シンポジウム概要

- ① 開発されつつあるPCAPS標準コンテンツ約30件の紹介
- ② 臨床プロセスチャートとユニットシートという「計画系」を有する電子カルテに対する期待
- ③ 医療の「質」を基軸とする経営の重要性和、その実現を支援するPCAPSの有用性
- ④ DPCの評価ツールとしてのPCAPSの可能性



『医療の質安全保証を実現する
患者状態適応型パス事例集 2006年版』

飯塚悦功・棟近雅彦・水流聡子 監修
患者状態適応型パスシステム開発研究会 編

日本規格協会 発行

¥2,940(税込み価格)

平成17-19年度

厚生労働科学研究費補助金(医療安全・医療技術評価総合研究事業)

「医療安全と質を保证する患者状態適応型パス(PCAPS-IMT)
統合化システム開発研究」

主任研究者 飯塚悦功 (東京大学 教授)

主任研究者補佐 棟近雅彦(早稲田大学 教授) 水流聡子(東京大学 助教授)

平成18年度最終成果報告シンポジウム プログラム

日 時 : 2007年 3月10日 土曜日 9:00~17:40

会 場 : 早 稲 田 大 学

後 援 : 平成18年度 厚生労働科学研究(医療技術評価研究)推進事業

共 催 : 日本品質管理学会 「医療の質安全部会」

時間/場所	内容/研究メンバー(敬称略、順不同)
9:00 ~ 10:00 【会場前ホワイエ】	1. ポスターセッション 司会: 勝尾信一(福井総合病院)・蒲生真紀夫(みやぎ県南中核病院) 発表者: 田中良典(武蔵野赤十字病院), 久島昌弘(沖縄県立中部病院), 吉田 茂(名古屋大学附属病院), 高橋真冬(育梅私立病院), 矢野 真(武蔵野赤十字病院), 勝尾信一, 加部一彦(愛育病院), 小西央郎(広島大学病院), 織田 順(社会保険中京病院), 河村 進(四国がんセンター), 菅野一男(武蔵野赤十字病院), 蒲生真紀夫, 中田知廣(早稲田大学)
10:10 ~ 12:00 【57号館 202】	2. H18年度研究の全体総括 司会: 棟近雅彦(早稲田大学)・水流聡子(東京大学) 2-1. 研究の目的と進捗飯塚悦功(東京大学) 2-2. 研究の成果水流聡子・棟近雅彦 ■医療の質・安全を保証する臨床知識の構造化手法 CPC・US・マスターにおける臨床知識の構造化 ■標準化のための科学的コンセンサスプロセスの設計とツール 経験・既存標準に基づく意見の収束(領域内・領域外) 検証調査による標準化(CPC・US・マスター) 標準PCAPSコンテンツ(CPC, CPC&US, UL) ビルダー Ver.1 の開発加藤康之(㈱サイバーラボ) ■運用PCAPSの設計 電子レセプト+PCAPS, 電子オーダーリングシステム+PCAPS, 電子カルテシステム+PCAPS ■分析PCAPSの設計(PCAPSにより構造化された臨床知識と再利用の手法事例) PCAPSデータ単独分析:基本ベンチマーク DPC等他のデータとPCAPSデータによる複合分析:高度ベンチマーク佐野雅隆(早稲田大学) ①レトロスペクティブデータ:全社連定観測 支援:伊藤雅治 理事長(社団法人 全国社会保険協会連合会) ②プロスペクティブデータ:虚血性心疾患PCAPSコンテンツ 支援:永井庸次 病院長 (㈱日立製作所 水戸総合病院)伊藤雅治 理事長・永井庸次 病院長 ③講評 ■知財管理・知財共有・知財活用.....コンソーシアムの設計
12:00 ~ 13:00	休憩 (ポスターセッション含む)
13:00 ~ 15:20 【57号館 202】	3. パネル I 「PCAPSによる標準医療の可能性:困難・阻害因子・克服過程」 司会:棟近雅彦・水流聡子 ■標準化(臨床プロセスチャート検証調査) ①領域リーダー・電子調査担当者蒲生真紀夫(みやぎ県南中核病院) ②領域リーダー・電子調査担当者勝尾信一(福井総合病院) ■標準化(ユニットシート検証調査):ユニットシート検証調査の困難・阻害因子・克服過程 ③作成者吉田 茂 ④調査施設永井庸次 ⑤調査員吉田 剛(東京大学) ■標準化(マスター開発) ⑥各マスター構造の違い樫石秀信(㈱神戸製鋼所 加古川病院) ⑦投薬マスターを例とする標準計画系における構造表現.....関 利一(㈱日立製作所 水戸総合病院) ⑧処置マスターに組み込まれた臨床知識渡邊千登世(聖路加国際病院) ■実装 ⑨沖縄県立中部病院における電子運用システムの試行的開発久島昌弘(沖縄県立中部病院) ■パネル討論・フロアからの意見 座長:飯塚悦功 パネリスト:蒲生真紀夫・吉田 茂・永井庸次・久島昌弘 樫石秀信・関利一・渡邊千登世・吉田 剛
15:20 ~ 15:40	休憩
15:40 ~ 17:40 【57号館 202】	4. パネル II 「PCAPSによる連携医療の可能性」 司会:棟近雅彦・水流聡子 ①健診—医療連携永井庸次 ②地域連携医療吉井慎一(㈱日立製作所 水戸総合病院) ③がん診療連携若尾文彦(国立がんセンター中央病院) ④全体討論(連携) 座長:飯塚悦功 討論者:永井庸次・吉井慎一・若尾文彦 5. 次年度計画水流聡子 6. 閉会の挨拶飯塚悦功

ポスターセッション概要

TIME	セッションA		※敬称略	
	領域	発表者	パス名称	
9:00	1 泌尿器科	田中良典	前立腺全摘除術	腎摘除術
↓			経尿道的前立腺切除術	
9:10	2 循環器疾患	久島昌弘	腎盂腎炎(尿管閉塞あり)入院	
↓			虚血性心疾患	
9:20	3 小児科	吉田茂	ペースメーカ	
↓			気管支喘息	腸重積
9:30	4 神経内科	高橋真冬	肥厚性幽門狭窄症	川崎病
↓			小児肺炎	
9:40	5 呼吸器外科	矢野真	脳梗塞急性期	眩暈症(バレーリュウ症候群)
↓			脳梗塞慢性期	ギランバレー症候群(急性期)
9:50	6 整形外科	勝尾信一	症候性てんかん	
↓			気胸入院	肺悪性腫瘍手術
↓			前縦隔腫瘍(正中切開)	
↓			大腿骨頸部骨折	人工股関節手術(手術～退院)
↓			坐骨神経痛	開放性四肢骨折手術(搬送～退院)
↓			腰椎後方手術	頸椎神経根症
↓			頸髄損傷	肩反復脱臼治療手術(手術～退院)
↓			肩板修復術(手術～退院)	人工膝関節手術(手術～退院)

TIME	セッションB		※敬称略	
	領域	発表者	パス名称	
9:00	7 NICU	加部一彦 小西央郎	NICU領域におけるPCAPS(シンポジウム用ポスター)	
9:10	8 呼吸器内科	中田知廣 (メンバー代理)	喘息	HOT導入
↓			市中肺炎	
9:20	9 救急	織田 順	急性薬物(眠剤)中毒	
↓			軽度外傷(経過観察)	
9:30	10 がん	河村 進	乳房温存、切除術	大腸がん化学療法(FOLFOLX)
↓			大腸切除術(がん領域)	乳がん化学療法(AC療法)
9:40	11 糖尿病	菅野 一男	低血糖	ステロイド開始時血糖コントロール
↓			シックデイ	
9:50	12 消化器内科	蒲生真紀夫	出血性胃十二指腸潰瘍	大腸ポリープ早期大腸がんEMR
↓			急性胆管炎・総胆管結石内視鏡治療	

網掛け: 2006年度の臨床プロセスチャート検証調査実施コンテンツ

斜体: 参考コンテンツ

参考展示	地域医療・介護連携	医療連携	
	ユニットライブラリー	術後せん妄ケア	離床パス
		入院服薬・指導	

上記のポスターは開発中の参考展示であり、プレゼンテーションは行わない。

★PCAPS研究会 会員募集(会費無料)★

PCAPSの最新の情報をメールにてお知らせいたします。
会員登録は、下記のホームページを参照お願いいたします。

PCAPS研究会申し込み案内ページ <http://plaza.umin.ac.jp/~A-epath/pcapsstudyg/pcapsstudyg.html>

★PCAPS 検証調査協力施設 募集★

研究で開発されたコンテンツの検証調査にご協力いただける施設(病院、診療所など)を募集しております。
詳細についてはお問い合わせくださいようお願いいたします。

【問い合わせ方法】

Office-PCAPS@umin.ac.jp またはファックスにて、件名「PCAPS検証調査協力 問い合わせ」

あて先を「段ノ上秀雄・島井健一郎」として、本文に以下の項目

・施設名称 ・担当者氏名 ・連絡先(電話番号, E-mail, 住所) ・(可能であれば)検証協力可能な領域/パス名称
をご記入のうえ送付ください。

後日、当方より折り返し、詳細等をご説明させていただきます。

PCAPS-IMT HP <http://plaza.umin.ac.jp/~A-epath/index.html>

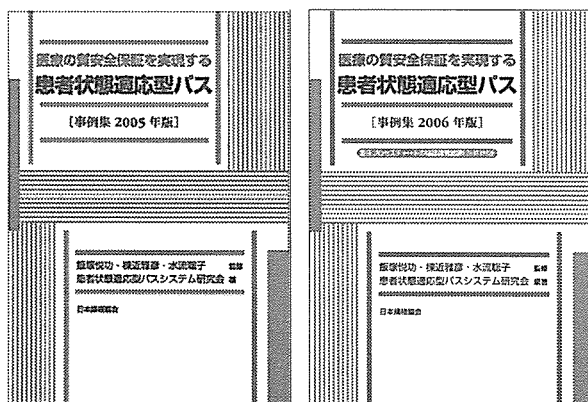
PCAPS-IMT事務局 問合せ先 〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1 工学部5号館 625 東京大学飯塚研究室
TEL: 03-5841-7299 FAX: 03-5841-7276 E-mail: Office-PCAPS@umin.ac.jp

シンポジウム運営組織

※敬称略

企画委員会			
委員長	飯塚悦功 (東京大学)		
副委員長	棟近雅彦 (早稲田大学)	水流聡子 (東京大学)	
委員 (順不同)	伊藤雅治 (社団法人全国社会保険協会連合会) 永井庸次 (㈱日立製作所 水戸総合病院) 蒲生真紀夫 (みやぎ県南中核病院) 吉井慎一 (㈱日立製作所 水戸総合病院) 勝尾信一 (福井総合病院) 吉田茂 (名古屋大学附属病院) 権石秀信 (㈱神戸製鋼所 神鋼加古川病院) 関利一 (㈱日立製作所 水戸総合病院)	渡邊千登世 (聖路加国際病院) 久島昌弘 (沖縄県立中部病院) 若尾文彦 (国立がんセンター中央病院) 田中良典 (武蔵野赤十字病院) 矢野真 (武蔵野赤十字病院) 村木泰子 (武蔵野赤十字病院) 牧健太郎 (牧公認会計士事務所) 加藤康之 (㈱サイバーラボ)	
研究室委員 (50音順)	赤井亮太 (東京大学修士課程) 加藤省吾 (東京大学博士課程) 金子雅明 (早稲田大学博士課程) 佐野雅隆 (早稲田大学修士課程) 島井健一郎 (東京大学飯塚研スタッフ)	段ノ上秀雄 (東京大学飯塚研スタッフ) 中田知廣 (早稲田大学修士課程) 福島瑠依子 (早稲田大学修士課程) 宮負菜穂子 (東京大学修士課程) 吉田剛 (東京大学学部生)	

実行委員会			
委員長	飯塚悦功 (東京大学)		
副委員長	棟近雅彦 (早稲田大学)	水流聡子 (東京大学)	
委員 (50音順)	赤井亮太 (東京大学修士課程) 石塚涉 (東京大学学部生) 内山健太郎 (東京大学学部生) 遠藤幸治 (早稲田大学学部生) 遠藤充彦 (早稲田大学学部生) 岡田優子 (早稲田大学棟近研スタッフ) 加藤省吾 (東京大学博士課程) 加藤信子 (早稲田大学棟近研スタッフ) 金子雅明 (早稲田大学博士課程) 高嵩 (早稲田大学学部生) 坂田泉美 (東京大学飯塚研スタッフ) 坂本真一 (早稲田大学学部生) 佐久間寛 (早稲田大学学部生)	佐藤典子 (東京大学飯塚研スタッフ) 佐野雅隆 (早稲田大学修士課程) 島井健一郎 (東京大学飯塚研スタッフ) 下野僚子 (東京大学修士課程) 塩飽哲生 (東京大学博士課程) 段ノ上秀雄 (東京大学飯塚研スタッフ) 中田知廣 (早稲田大学修士課程) 福島瑠依子 (早稲田大学修士課程) 宮負菜穂子 (東京大学修士課程) 宮崎勢 (東京大学学部生) 吉崎裕介 (東京大学修士課程) 吉田剛 (東京大学学部生)	



『医療の質安全保証を実現する患者状態適応型パス事例集』

2005/2006年度版

飯塚悦功・棟近雅彦・水流聡子 監修

患者状態適応型パスシステム開発研究会 編

日本規格協会 発行

2005年度版 ¥3,150(税込み価格)

2006年度版 ¥2,940(税込み価格)